
はじめに

■「かわさき教育プラン」について

「かわさき教育プラン」は、本市の教育に関する基本計画です。

「かわさき教育プラン」（平成 17 年度～平成 26 年度）は、それまで本市の教育の指針となってきた「いきいきとした川崎の教育をめざして*（昭和 61 年）」が掲げた「教育への市民参加」の考え方を引き継ぎながら、新たな教育改革の方向性を示す本市ではじめての教育行政計画として、平成 17 年 3 月に策定されました。

本市では、「市民の力が教育を変える」を理念として掲げながら、この 10 年間、市民との協働、本市の教育がこれまで積み重ねてきたものを基盤としながら、教育改革を着実に進めてきました。「かわさき教育プラン」は、その間、市の総合計画『新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」』における実行計画との連携の下、実行性の高い教育分野の基本計画として、また、教育改革の指針としての役割を果たしてきました。

■「かわさき教育プラン」に基づくこれまでの取組

子どもから高齢者まで、全ての市民が教育・学習・文化・スポーツなどの各分野にわたって、いきいきと学びあうことのできる学習社会の実現を目指し、「多様化する価値観の中で、子どもと大人が共に生き、一人ひとりがいきいきと輝く学習社会を創造する」及び「地域の学習のネットワーク化を支援し、地域教育力の向上へつなげる」の2つの目標を設定して、第1期実行計画から第3期実行計画までの10年間（平成17年度から平成26年度）で様々な教育施策を進めてきました。各実行計画期間における主な取組は次のとおりです。

（第1期実行計画 17年度～19年度）	<ul style="list-style-type: none">●小5・中2で本市独自の学習状況調査を実施（H17～）●小学校全児童への防犯ブザーの貸与（H17～）●教育活動サポーター*（H17～）、特別支援教育サポーター*（H19～）の配置●学校運営協議会*制度（コミュニティ・スクール）の導入（H18）●土橋小学校開校（H18）●学校2学期制の実施（H18～）●電子メールを利用した児童生徒の安全に関わる情報の配信（H18～）●小・中学校普通教室への冷房の設置（H19～）
------------------------	---

<p>第2期実行計画 (20年度～22年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●はるひ野小中学校開校 (H20) ●全校で学校評価システム*を導入 (H20) ●各区・教育担当*の設置 (H20～) ●インターネット問題相談窓口の設置 (H20～) ●地域交通安全員*の配置 (H20～) ●学校トイレの快適化改修の実施 (H20～) ●小学校5・6年生の理科授業に理科支援員を配置 (H20～) ●学校支援センター*の設置 (H21～) ●AED (自動体外式除細動器) を全校へ配置 (H21～) ●中原市民館の移転・オープン (H21) ●教育文化会館・市民館の区役所への移管 (H22) ●「かわさき共生*共育プログラム*」を全校で実施 (H22～)
<p>第3期実行計画 (23年度～26年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中央支援学校高等部分教室の開設 (H23) ●学校防災教育の推進 (防災教育研究推進校の指定、学校防災マニュアルの作成と見直し) (H24) ●災害用備蓄物資の整備 (H24～) ●学校校舎・体育館の耐震化完了 (H24) ●かわさき宙と緑の科学館改築・リニューアルオープン (H24) ●中原図書館の移転・オープン (H24) ●ゆうゆう広場 (適応指導教室)*を市内6ヶ所へ設置 (H24) ●既存学校施設再生整備のモデル実施 (H24～) ●「学校施設長期保全計画*」策定 (H25) ●「川崎市文化財保護活用計画」策定 (H25) ●スクールソーシャルワーカー*の各区1名配置 (H25) ●学校体育館開放利用の受益者負担適正化のための使用料導入 (H25) ●田島支援学校再編整備完了 (H25) ●通級指導教室* (小学校は各区、中学校は南部・中部・北部) 整備 (H25) ●教員を対象とした新たなライフステージ研修の実施 (H25～) ●児童支援コーディネーター*の専任化 (H25～) ●中学校完全給食実施方針*策定 (H26) ●地域の寺子屋*のモデル実施 (H26) ●川崎高等学校附属中学校開校 (H26) ●川崎高等学校定時制昼間部開設 (H26) ●「川崎市いじめ防止基本方針*」策定 (H26) ●校務支援システム*の本格稼動 (H26～)